



3 / 6

## 青少年特別表彰

### アジア大会金賞受賞 ショパン「幻想即興曲」

市民に明るい希望と活力を与える顕著な功績があった青少年を表彰する「うるま市青少年特別賞」が、伊波蘭菜さんに贈られました。蘭菜さんは1月5日に開催された「第15回ショパン国際ピアノコンクール」に日本代表として出場。参加した79人（アジア10か国）の中から、見事金賞を受賞するという快挙を成し遂げ、同賞の表彰にいたしました。

今後の目標について「東京芸術大学に入学してもっと音楽を勉強し、世界で活躍するピアニストになりたい」と語る蘭菜さん。大会当日のVTRを視聴した島袋市長は「演奏に本人の思いが表現されており、どれだけ努力してきたかが、一目で分かる。今後のますますの活躍を期待したい」と激励しました。



【うるま市青少年特別賞 表彰式にて】

伊波 蘭菜さん（宮森小学6年生）

3歳よりヤマハ音楽教室に通う  
小学2年生の時に沖縄代表として初の全国大会出場  
その後全国大会の常連となる  
小学5年生の時にはショパン国際ピアノコンクール  
全国大会で銅賞を受賞。  
小学6年生 同コンクールでアジア大会金賞を受賞

2 / 5

## うるま市・盛岡市物産交流

うるま市と友好都市提携を結んでいる盛岡市内のデパートで「第13回ちゅうしま大沖縄展」が2月5日から11日まで開催されました。本市の特産品が店頭で並べられた他、文化や伝統を紹介する「うるま市特設ブース」が設けられるなど、沖縄ならではの食品や工芸品を前に、多くの来場者で賑わいました。

島袋市長は「盛岡とうるまの気温は約20度の温度差があるが、気持ちは一つ。物産展を通してさらに絆を強めたい。」と述べ、盛岡市の谷藤市長と熱い握手を交わしました。



【盛岡市内デパート（川徳）津堅人參を配る谷藤市長】



【笑顔でプレゼントを配布するミスさんさ】

2月22日には「2014いわて盛岡デー・イン・沖縄」がイオン貝志川店で開催され、盛岡冷麺、南部せんべい、日本酒など盛岡を代表する特産品をはじめ、岩手の三陸の海産物が展示・販売されました。  
先着200名の方には盛岡市の方々から手渡しでプレゼントもあり、受け取った来場者から笑みがこぼれました。  
また、ステージでは東北五大祭りの一つ「盛岡さんさ踊り」も披露され、来場した観客からは「太鼓を持って踊るのは沖縄のエイサーに似ている」という声もあり、初めて見る生のさんさ踊りに、会場では拍手が鳴り響きました。